

～ 「漢検」受検データ年齢別集計で判明 ～

“アクティブシニア”は 80 代？！ 志願者・合格者ともに増加 認知症予防やコミュニケーションに役立つと 高齢者施設も注目

「日本漢字能力検定(以下、漢検)」を主催する公益財団法人 日本漢字能力検定協会(本部:京都市東山区／代表理事 理事長:山崎信夫、以下、当協会)は、2023 年度第 3 回の漢検受検データ、および 2023 年度年間志願者数・合格者数を 2024 年 5 月に公開しました。

当協会では、2007 年度より漢検の級別志願者数・合格者数(受検データ)を、回ごとに集計し公開しています。

■80 代の合格者は前年から 17%も増加

2023 年度の年間志願者数は 1,415,116 人、合格者数は 790,425 人でした。前年度と比べると志願者数、合格者数ともに減少したものの、年代別に集計したところ、80 代は志願者数 110.3%、合格者数 117.0%と増加していることがわかりました。

<年代別 2023 年度 漢検志願者数・合格者数>

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	不備※1	合計
志願者数	195,022	1,138,892	23,142	8,123	14,030	10,072	5,468	4,190	1,078	89	6	15,004	1,415,116
合格者数	168,017	591,066	8,430	3,797	8,318	5,195	2,947	2,173	454	24	4	0	790,425

※1:年齢記載無の志願者



漢検は小学校 1 年生で習う漢字を対象とした 10 級から、常用漢字 2,136 字すべてを対象とした 2 級、常用漢字表外の漢字を含んだ約 6,000 字を対象とした 1 級まで、12 段階の級を設定しています。受検する級に年齢制限はなく、いつでも誰でもどの級からでも挑戦できるため、現在までに 3 歳から 103 歳までのべ 5,000 万人を超える人に受検いただいています(※2)。

当協会では 2017 年から 5 年をかけて、京都大学との共同研究プロジェクトを行い、漢字能力が脳機能の発達・維持に及ぼす効果を科学的に検証



高齢者施設での団体受検風景

しました。その結果、手書きの習慣の多い人と少ない人を比べると、1 年後の認知機能テストの点数に有意な差がありました。このこともあり、近年では、漢検を手書き機会として認知症予防につながると考え、レクリエーションの一つとして漢検の団体受検(※3)を取り入れる高齢者施設も見られます。2023 年度最年長合格者(96 歳)の方も、デイサービスで受検された方でした。仕事や趣味などに意欲的で、健康意識も高い活発な高齢者を定義する“アクティブシニア”とは、一般的に 65～75 歳の前期高齢者を指すようですが、80 代の方たちもアクティブシニアと呼ぶにふさわしい結果です。



※2:1992 年度からの志願者数推計。

※3:団体受検とは、学校や塾・企業などの団体で志願者を 10 名以上集め、まとめて申し込みを行う方法で、検定会場によって「準会場受検」と「団体公開会場受検」の 2 つに分かれます。

【漢検受検データについて】

▼年間志願者数および合格者数の推移

<https://www.kanken.or.jp/kanken/investigation/transition.html>

▼年度・回ごとの級別志願者数・合格者数

<https://www.kanken.or.jp/kanken/investigation/result.html>

【法人概要】

名称 : 公益財団法人 日本漢字能力検定協会
所在地 : <本部> 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側 551 番地
TEL : (075)757-8600 FAX : (075)532-1110
<東京事務所> 〒108-0023 東京都港区芝浦 3 丁目 17-11 天翔田町ビル 6 階
代表者 : 代表理事 理事長 山崎 信夫
URL : <https://www.kanken.or.jp/>
設立年 : 1992 年
事業内容 : (1)日本語・漢字に関する普及啓発・支援
(2)日本語・漢字に関する調査及び研究
(3)日本語・漢字に関する能力育成
(4)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

<プレスリリースに関するお問い合わせ先>

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 広報担当 藤野・佐藤

TEL:080-3779-2925・090-5426-8206 E-mail:koho-c@kanken.or.jp